令和7年度決算状況
特別会計・企業会計

特別会計の概要

特別会計(6会計)決算額を合計すると、歳入が294億5,397万7千円で前年度と比べて2億5,581万6千円(0.9%)の増加となり、歳出が290億6,092万8千円で前年度と比べて2億1,980万7千円(0.8%)の増加となりました。

会計名	歳入(A)	歳出(B)	差引額(A－B)
国民健康保険特別会計(事業勘定)	138億2,394万9千円	137億4,825万6千円	7,569万3千円
古河福祉の森診療所特別会計	1億1,927万2千円	1億1,827万1千円	100万1千円
後期高齢者医療特別会計	22億5,691万7千円	22億5,371万9千円	319万8千円
介護保険特別会計(保険事業勘定)	121億3,693万1千円	119億512万6千円	2億3,180万5千円
ゴルフ場事業特別会計	9,608万8千円	9,206万7千円	402万1千円
古河駅東部土地区画整理事業特別会計	10億2,082万円	9億4,348万9千円	7,733万1千円
合計	294億5,397万7千円	290億6,092万8千円	3億9,304万9千円

企業会計の概要

上下水道事業は法律で「地方公営企業」と位置付けられており、事業に必要な経費は、原則として水道料金や下水道使用料などの収入で賄う「独立採算の原則」に基づき運営されています。

(消費税等込)

会計名	区分	収入(A)	支出(B)	差引額(A－B)
水道事業会計	収益的収支	25億8,447万1千円	24億2,555万円	1億5,892万1千円
	資本的収支	7億7,109万5千円	14億8,241万5千円	△7億1,132万円
下水道事業会計	収益的収支	39億7,210万円	39億1,682万3千円	5,527万7千円
	資本的収支	9億3,870万2千円	18億8,990万8千円	△9億5,120万6千円

【問】水道課(三和浄水場)TEL76-3780、㊡下水道課TEL76-1511

事業評価を実施しました

令和7年度に行った市の事業を対象に事業評価を実施しました。事業評価とは、事業の目的や効果の達成状況を基に指標を設定して評価を行うものです。

評価結果は市ホームページおよび㊡企画課で閲覧できます
【問】㊡企画課TEL92-3111



令和7年度決算に基づき算定した
財政健全化判断比率

実質赤字比率

一般会計等の実質的な赤字額が、標準的な収入に対してどれくらいの割合になるかを示すものです

連結実質赤字比率

全会計の実質的な赤字額が、標準的な収入に対してどれくらいの割合になるかを示すものです

将来負担比率

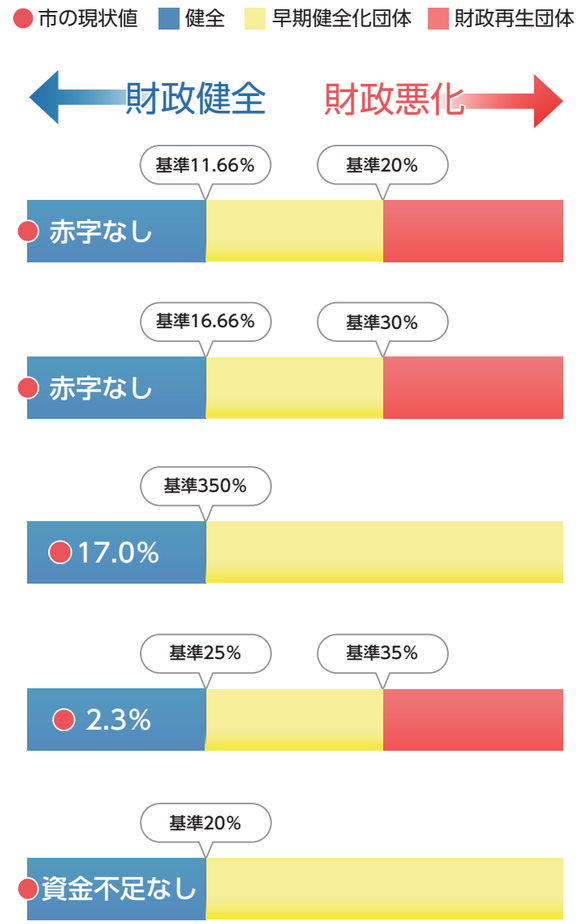
一般会計等が抱える実質的な負債の残額が、標準的な収入に対してどれくらいの割合になるかを示すものです

実質公債費比率

一般会計等の実質的な借入金の返済額が、標準的な収入に対してどれくらいの割合になるかを示すものです

資金不足比率

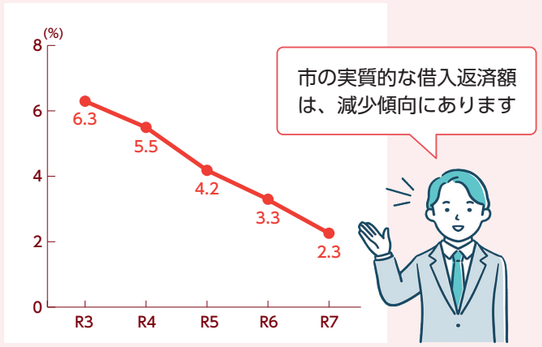
各公営企業会計の資金不足額が、料金収入に対してどれくらいの割合になるかを示すものです



令和7年度決算に基づく現状値

市の財政状況を表す現状値は、全て国の基準で「健全」とされる範囲内です。今後も、将来にわたって持続可能な財政運営を図っていきます。

実質公債費比率



将来負担比率

